



かけはし 岩国市立錦中学校だより 第11号

令和5年(2023年) 9月27日(水)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>



ひたむきであたたかみのあるさわやかな錦体祭！！

「一生懸命」な姿があふれたすてきな錦体祭でした

9月24日(日)、第2回小中合同錦体祭(錦清流小学校・錦中学校合同体育祭)が「勇猛邁進～一丸となって突き進め～」のスローガンのもと盛大に開催されました。

このすてきな錦体祭スローガンには「錦清流小・錦中の児童生徒が一致団結して、自分たちの目標(総合優勝)に向けて、一生懸命に取り組む」という思い、「自分たちのひたむきな姿を目にする保護者や地域のみなさまに笑顔になってほしい」という願いが込められていました。



企画委員が種目の内容など様々なことを決定し、実行委員・応援団を中心に練習から2色が切磋琢磨しながら競い合い、成長してきました。「徒競走」「応援合戦」「ミッションインポッシブル・玉入れ(小中合同競技)」「NISHIKI QUEST(借り人競争)」「全校ダンス」「綱引き」「紅白対抗リレー」手を抜く錦中生は誰一人いません。錦清流小生も同様です。特に応援合戦での全力の声出し、機敏な動き、そして、拍手による相手へのリスペクトには心打たれました。錦清流小生・錦中生、君たちはすてきです。「ひたむきであたたかみのあるさわやかな錦体祭」「一生懸命な姿があふれるすてきな錦体祭」となりました。一生懸命やった者しか味わえない感覚を錦清流小生・錦中生は感じたことと思います。すてきな大人に向けて「一歩前へ」すすんだ君たちの一生懸命さに感謝です。ありがとう！

ご来場いただいた保護者のみなさま、地域のみなさま、終始子どもたちの演技や競技に温かい声援や拍手をありがとうございました。みなさまの支えが子どもたちをすてきな大人へ成長させます。これから深まる「実りの秋」へ向け、大きな弾みとなりました。

錦体祭における生徒会長あいさつから

みなさん、本日はお疲れ様でした。とても暑い日でしたが、最後まで全力で錦体祭をすることができました。今、勝敗が決まり、私も含め、みなさんの心の中はさまざまな気持ちでいっぱいだと思います。

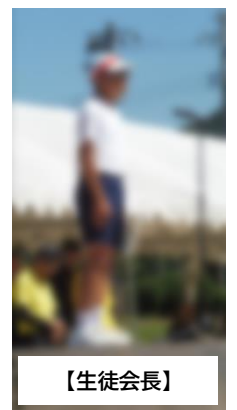
錦体祭の結果は、勝利や敗北だけでは語れないことだと思います。今日、最高の錦体祭にするために自分が何をしてきたか思い返してみてください。私はダンスや応援など、仲間と協力してスローガンの勇往邁進らしく全力で練習に励んできました。

そして、迎えた本番、練習でやってきたことを思い出しながら全力で、なおかつ、楽しく取り組むことができ、最高の錦体祭をつくり上げることができました。

最後に私を今日まで支えてきてくれた友達や先生、またテント張りや草刈り、熱のこもった応援をしてくださった保護者のみなさん、地域のみなさん、そして、生徒会種目に参加してくださったみなさん、本当にありがとうございました。

生徒会長のあいさつから本番だけがんばるのではなく、普段の練習からみんなががんばってきた過程が何よりも大切だということが分かります。普段から「本気」でがんばる君たちだからこそ、多くの方々に「元気」を与え、多くの方々から応援されるのです。

「本気」とは、まじめな心や真剣な気持ちで物事に取り組むことです。最高の錦体祭を創りあげる過程で君たちは「本気」を身に付けました。何でも「本気」で取り組む人は「元気」な人ですし、周りに「元気」を与えます。「本気」が「元気」を生む、これからも何事にも「本気」で取り組む錦中生であってください。やればできる!君たちならできる!



【生徒会長】

地域のために協力してみませんか！！

錦体祭での生徒会長あいさつの中にありましたが、保護者や地域のみなさんは君たちのためにテント張りや草刈りを手伝ってくださいました。今度は君たちが地域のために協力してみませんか。

10月15日(日)、広瀬分校グラウンドで4年ぶりに「第42回清流線少年少女親睦球技大会」が開催され、岩国市内外から14チームが参加されます。そこで、広瀬分校のグラウンドの除草作業が9月30日(土)8:00から行われます。君たちも参加したことのある大会です。協力してみませんか。手作業での草抜きになります。スコップ等の準備をお願いします。

10月7日(土)9:00から「錦川清流大作戦」があります。地域の方々と協力してゴミ拾いを行います。集合場所は広瀬分校体育館前です。大作戦終了後にカレーライスが用意されているそうです。協力してみませんか。

「してもらおう」ばかりでなく、「誰かのために」「何かのために」自分ができるところで行うということは、とてもすてきなことだと思います。時間が許す錦中生は、保護者の方と相談して、参加を考えてみてください。「地域貢献」していきましょう。